

**Technology to Inspire Innovation**

# **2018年度中間決算及び 通期見通し説明会**

**2018年10月26日**

**6807 日本航空電子工業株式会社**

## **I . 2018年度中間決算**

## **II . 2018年度通期業績見通しと取組み**

# **I . 2018年度中間決算**

## **(2018年4月～2018年9月)**

※ 本資料では、原則として金額は億円単位に四捨五入しておりますので、個別数値と合計値・増減額が一致しない場合があります。

億円	2017年度		2018年度	前年同期比	
	上期	下期	上期	18上/17上比較	
売上高	1,245	1,294	1,180	-66	95%
営業利益 対売上比	95 7.6%	111 8.6%	94 7.9%	-1	99%
経常利益 対売上比	85 6.8%	89 6.9%	106 9.0%	22	126%
純利益 対売上比	62 5.0%	67 5.2%	77 6.5%	15	124%

## 上期予想比

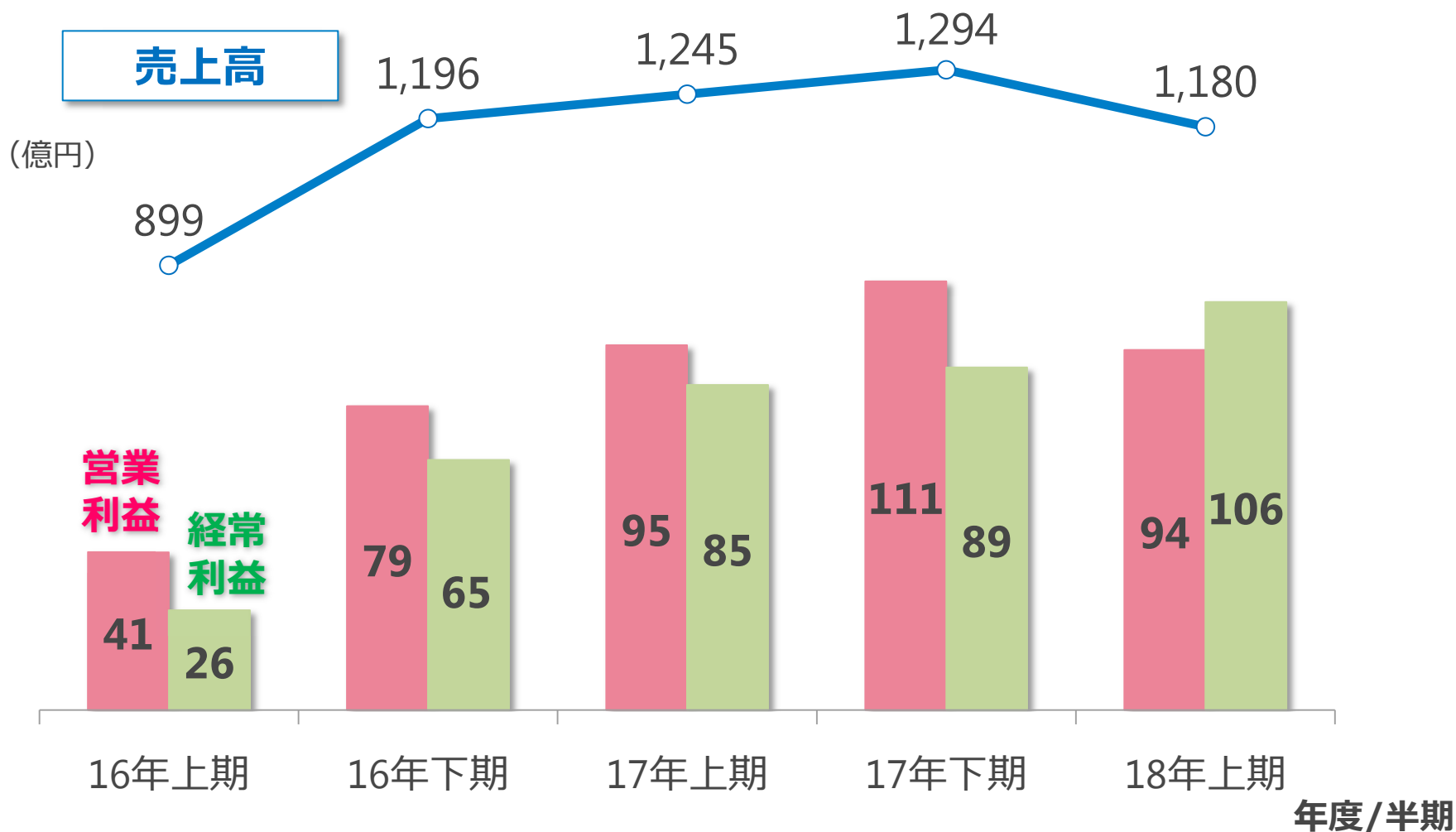
**15** 101%  
**-1** 99%  
**21** 125%  
**14** 123%

## 2018年度上期 18年4月予想値

**1,165**  
**95**  
**85**  
**63**

為替レート (円/US\$)	111.0	110.7	110.3 (期中平均)
-------------------	-------	-------	--------------

- ▶ 売上高が同期比減少となる中、営業利益はほぼ前年同期並み、  
経常利益は増益を達成



# 全社市場別売上高

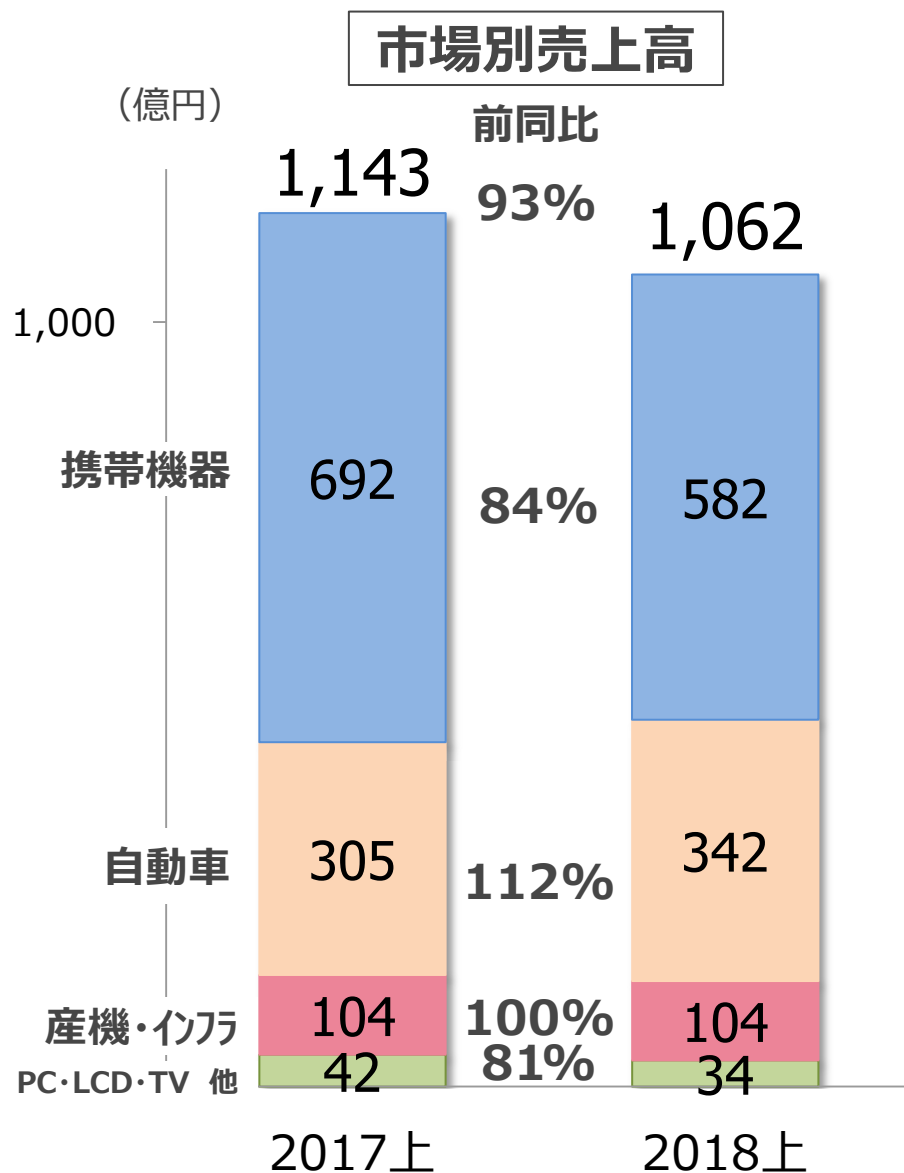
億円	2017年度		2018年度		前年同期比	
	上期	下期	上期		18上/17上比較	
携帯機器	692	686	582	構成比 44%	-110	84%
自動車	331	367	369	35%	38	111%
産機・インフラ	154	173	171	14%	17	111%
その他	67	68	57	7%	-10	85%
計	1,245	1,294	1,180	100%	-66	95%

上期予想比	2018年度上期 4月予想値
35 106%	547
-9 98%	378
-14 93%	185
2 104%	55
15 101%	1,165

海外売上高	937	948	848
海外売上比率	75.2%	73.2%	71.9%

# 事業部門別売上高

億円	2017年度		2018年度		前年同期比		上期予想比	2018年度上期 18年4月予想値
	上期	下期	上期		18上/17上比較			
コネクタ	1,143	1,173	1,062	構成比 90%	-80	93%	12    101%	1,050
UIS	41	45	43	4%	2	104%	0    100%	43
航機	57	72	70	6%	13	122%	4    106%	66
その他	4	4	4	—	0	109%	-2    74%	6
計	1,245	1,294	1,180	100%	-66	95%	15    101%	1,165



## 売上高：前年同期比93%

### ▶ 携帯機器

- ・ 外部購入品を組合せた製品が大きく減少
- ・ 中国スマホ向け売上は回復
- ・ Type-CコネクタDX07シリーズは前年並み

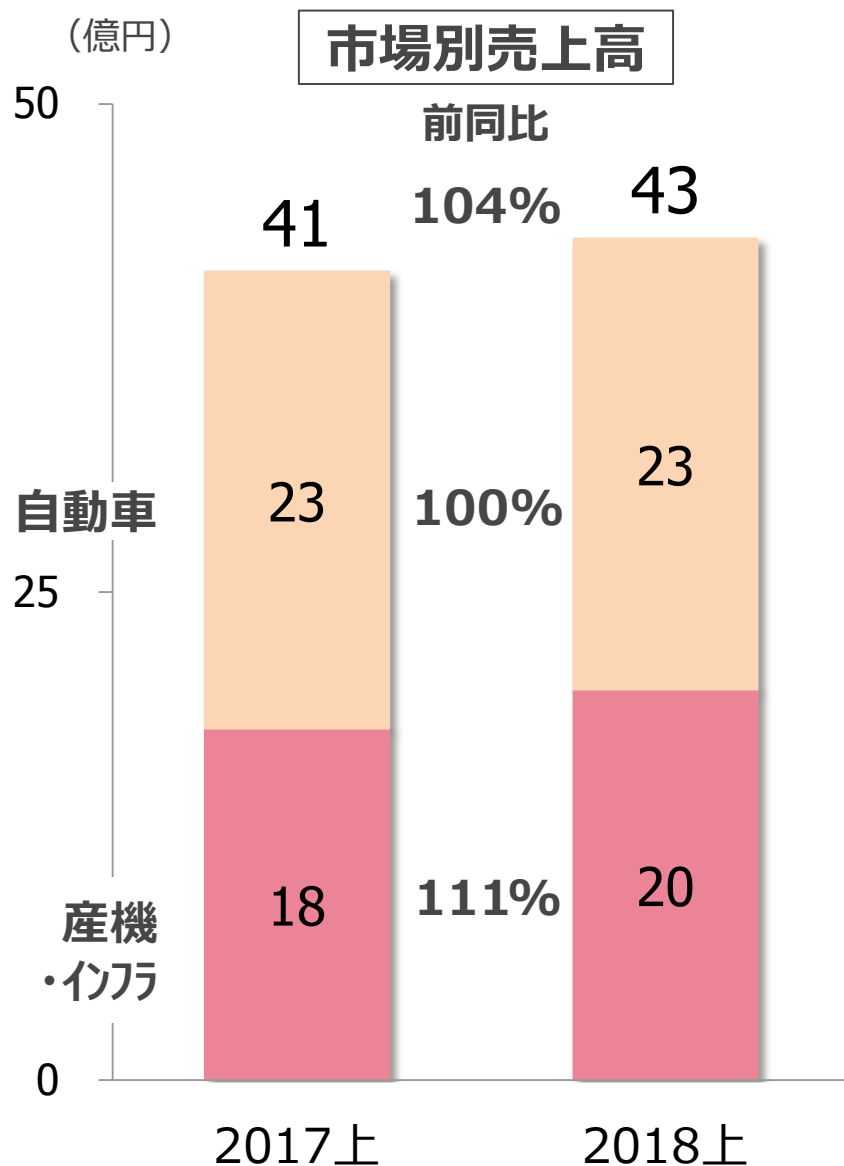
### ▶ 自動車

- ・ 日系向け売上を中心に成長

### ▶ 産機・インフラ

- ・ 市場の先行き懸念による発注調整などから、一部の顧客、機器で影響





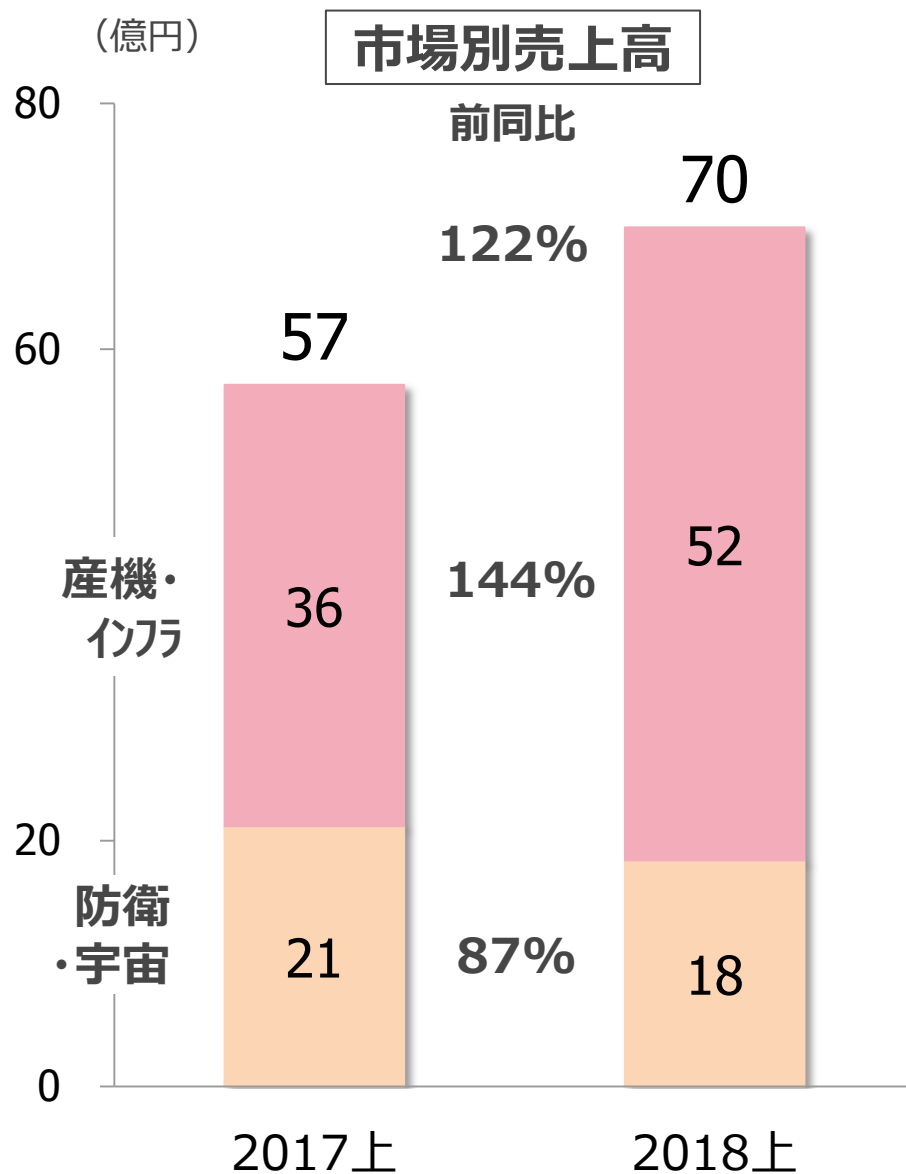
**売上高：前年同期比104%**

▶ **自動車（車載タッチパネル）**

- ・ フィルムセンサの量産本格化（17年度4Qに量産開始）

▶ **産機・インフラ**

- ・ 半導体製造装置向け操作パネル、ロボット向けティーチングペンダントなどの好調が継続



**売上高：前年同期比122%**

## ▶ 産機・インフラ

- 原油価格上昇により、石油掘削向けセンサが倍増
- 半導体製造装置向けリニアモータは堅調

## ▶ 防衛・宇宙

- 国産プログラム向け防衛予算の減少により、同期比減少

※産機・インフラ売上に自動車向けセンサを含む

# 事業部門別営業利益

下段は売上高営業利益率

億円	2017年度		2018年度	前年同期比 増減
	上期	下期	上期	
コネクタ	112 9.8%	121 10.3%	106 10.0%	-6
UIS	4 9.2%	4 9.6%	3 8.0%	-0.4
航機	1 1.6%	6 8.9%	7 10.0%	6
配賦不能 他	-22	-20	-23	-1
全社	95 7.6%	111 8.6%	94 7.9%	-1

## **Ⅱ．2018年度通期業績見通しと取組み**

**(2018年4月～2019年3月)**

億円	2017年度	2018年度通期予想			前年比		通期予想比	2018年4月 通期予想値
		上期実績	下期見込	通期予想				
売上高	2,539	1,180	1,235	2,415	-125	95%	15 101%	2,400
営業利益 対売上比	206 8.1%	94 7.9%	99 8.0%	192 8.0%	-14	93%	-8 96%	200 8.3%
経常利益 対売上比	174 6.8%	106 9.0%	90 7.3%	196 8.1%	23	113%	21 112%	175 7.3%
純利益 対売上比	129 5.1%	77 6.5%	68 5.5%	145 6.0%	15	112%	15 111%	130 5.4%

為替前提（下期）

1USDドル = 110円

# 全社市場別売上見通し

億円	2017年度	2018年度通期予想			前年比		通期予想比	2018年4月 通期予想値
		上期実績	下期見込	通期予想				
携帯機器	1,379	582	597	1,179	-200	86%	49 104%	1,130
自動車	698	369	393	762	64	109%	-8 99%	770
産機・ インフラ	327	171	185	356	29	109%	-29 92%	385
その他	135	57	60	118	-17	87%	3 103%	115
計	2,539	1,180	1,235	2,415	-125	95%	15 101%	2,400

# 事業部門別売上見通し

億円	2017年度	2018年度通期予想			前年比		通期予想比	2018年4月 通期予想値
		上期実績	下期見込	通期予想				
コネクタ	2,316	1,062	1,103	2,165	-151	93%	10 100%	2,155
UIS	86	43	45	88	2	102%	-1 99%	89
航機	129	70	82	152	23	118%	8 106%	144
その他	9	4	5	10	1	112%	-2 80%	12
計	2,539	1,180	1,235	2,415	-125	95%	15 101%	2,400

## ▶ 基板対基板コネクタへの取組み

- 中国スマホ市場でのシェア拡大、デファクトスタンダード化を目指す

### 基板対基板コネクタ 開発ロードマップ

コンタクト隣接間ピッチ

0.3mmピッチ

WP56DK

0.3mmピッチ  
幅狭対応  
強化版

Next

H=0.6



電源端子/堅牢アーマー付

WP27D



H=0.7  
D=1.9

WP27DK



H=0.7  
D=1.9

堅牢化により  
組み立て性を向上

0.35mmピッチ

WP26



H=0.6  
D=1.9

WP26DK



Next H=0.6

開発幅狭品順次投入

Next H=0.6



Next

5Gに向け新たな  
部位創出



WP10



H=0.7  
D=2.2

Next



急速充電大電流  
対応シリーズ展開

0.4mmピッチ

2016

2017

2018

~2020



## ▶ USB Type-C「DX07シリーズ」の取組み

### ● 高付加価値領域での拡大

- 当社独自技術によるポッティングレス防水レセプタクル等を市場投入



防水タイプレセプタクル

### ● 新領域への取組み強化

(導入期を迎える新たな市場への拡大)

- VR市場向けVirtualLink™対応製品を拡充
- 産機インフラや自動車市場向け製品の開発
- 新領域向けケーブルハーネスなどの製品を拡充



後列:「VirtualLink™」対応  
前列:2列SMTオンボード

ポッティングレス：樹脂による封止工程の削減

VirtualLink™：USB Type-Cを利用することで、複数のコードやコネクタを使用することなく、VRヘッドセットを他のデバイスに接続可能にするための規格



スクリューロック付ケーブルハーネス

## ▶ 高速伝送対応製品の拡充

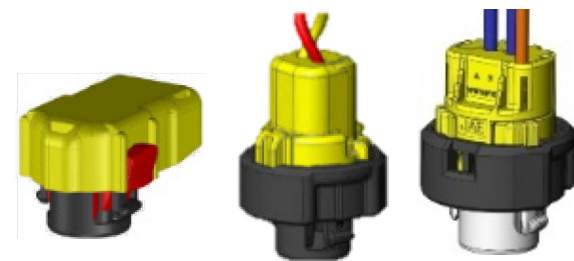
- カメラ向けコネクタなど、欧州メーカーでの実績をもとに、日系メーカーへも採用拡大
- 次世代情報通信系コネクタの開発



カメラコネクタMX55シリーズ  
(欧州カーメーカー採用の  
ドアミラー実機)

## ▶ 欧州デファクトスタンダード製品の拡充

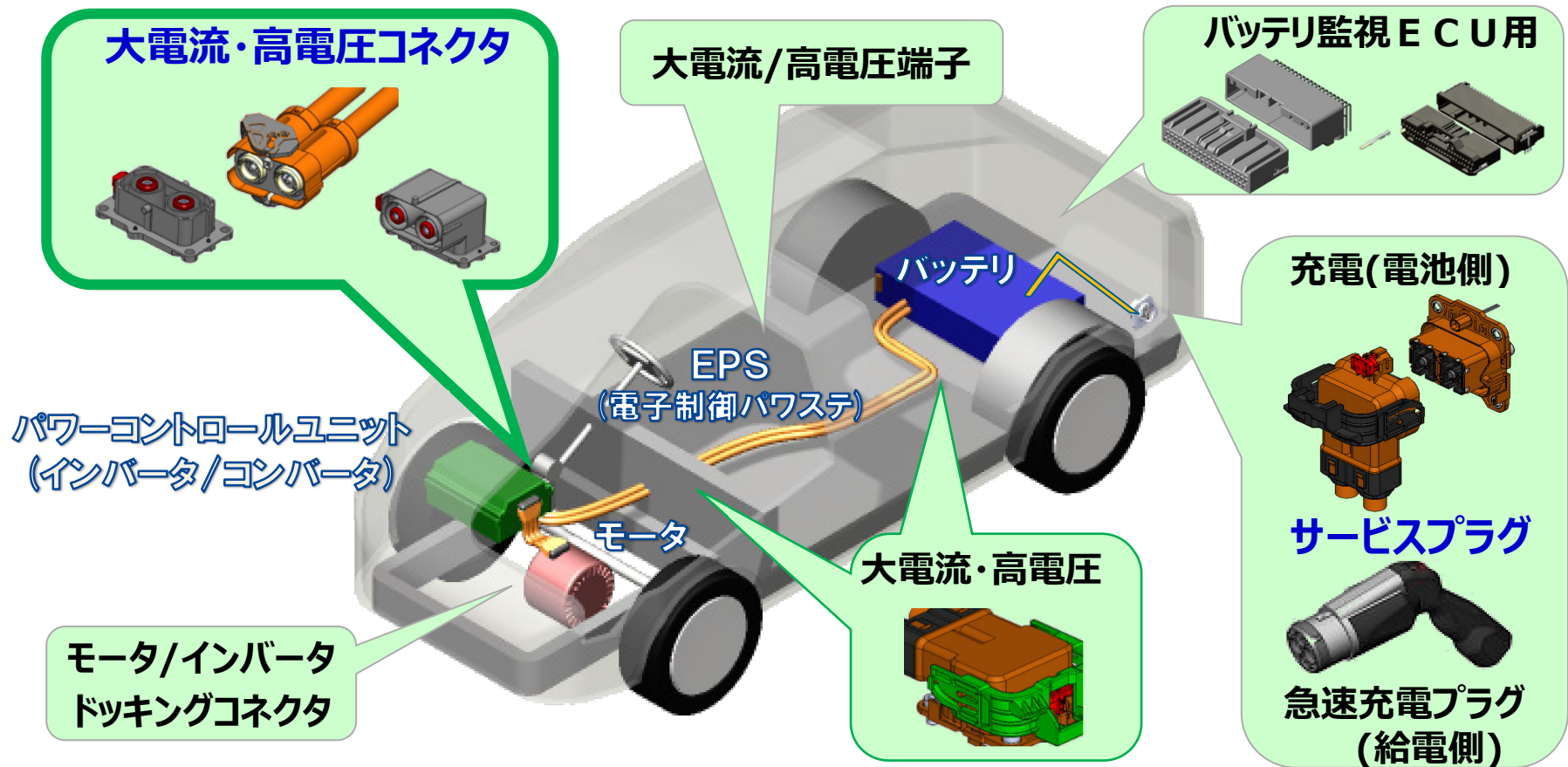
- エアバッグ用欧州デファクトコネクタを、18年度下期より量産開始  
⇒ 欧州、北米、中国等へ展開



エアバッグ用 AKスクイブコネクタ

## ▶ EV向け大電流・高電圧製品の開発

- 大電流、高電圧コネクタの開発・拡販
- サービスプラグコネクタの顧客拡大



サービスプラグ：EV車の保守点検時におけるバッテリー回路遮断用コネクタ

## ▶ EV向け急速充電（インフラ）への取り組み

- 市場の広がりとともに、各地域に向け注力
  - 日本、北米ですでに採用  
欧州、中国へも展開
- CHAdeMO仕様のV2Hから急速充電まで網羅する  
バリエーションを開発済
  - 海外市場で普及が進むComboタイプを順次投入

### KWシリーズ バリエーション

KW01



急速充電コネクタ  
125A/500V

KW02



V2Hコネクタ  
25A/450V

KW03



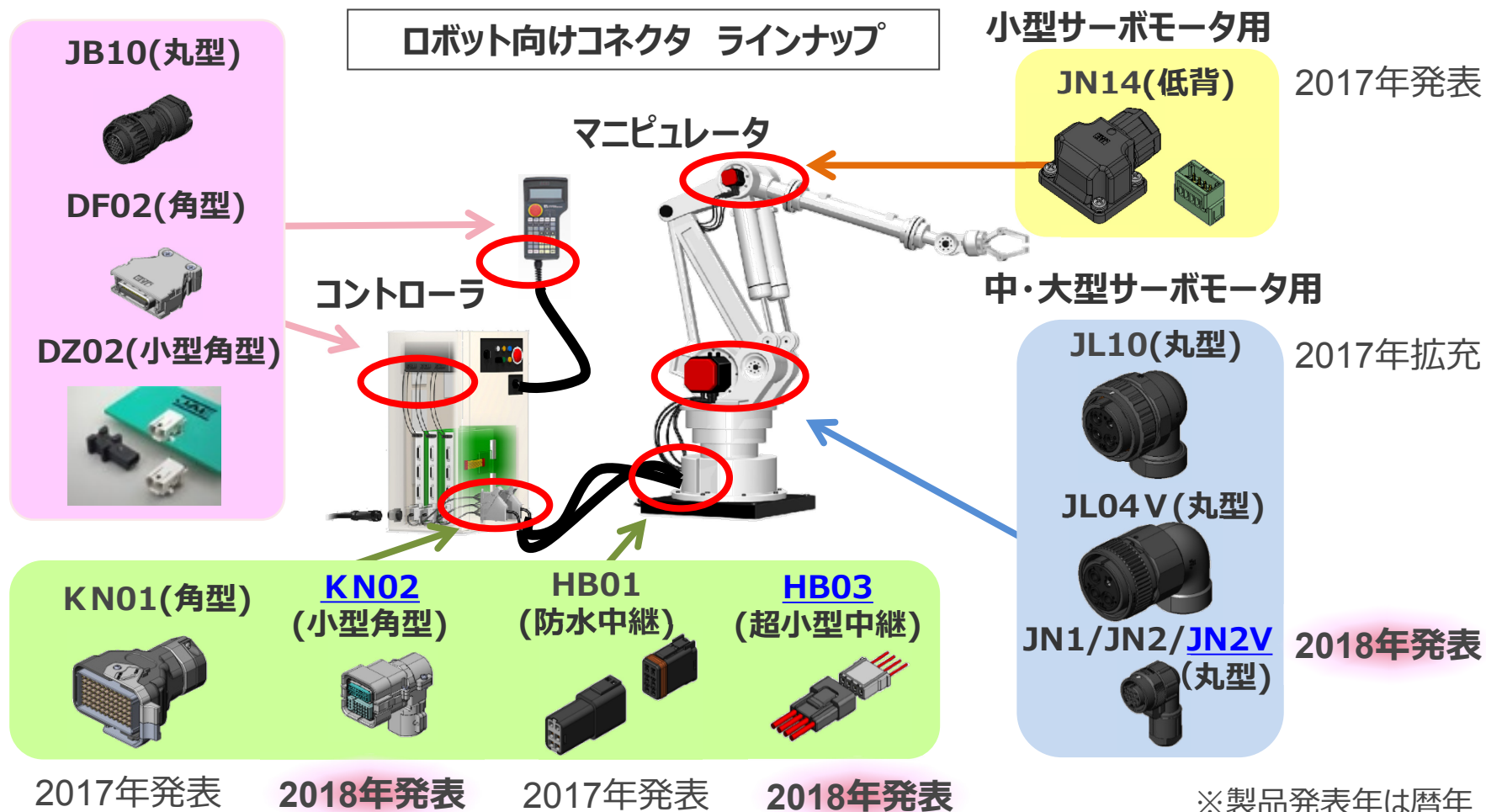
中速充電、V2Gコネクタ  
80A/500A



北米での導入事例  
「KW01シリーズ」  
(CHAdeMO仕様)

## ▶ FA・ロボットへの取組み

### ● ロボット向け製品の拡充 (協働ロボット向け、海外向け等)



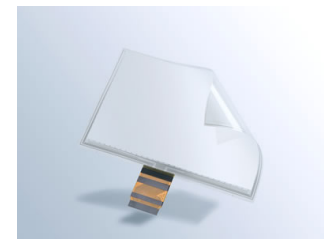


## ▶ 自動車市場への取組み

- 車載タッチパネル商談の獲得加速
  - 2019年度売上増加につながる新規採用が拡大
  - さらなる成長に向け新車種の攻略を加速
- フィルムタイプ生産拡大
  - 18年度下期後半より新規顧客向け量産を開始



メタルメッシュ  
ガラスセンサ



メタルメッシュ  
フィルムセンサ

## ▶ 産機市場への取組み

- 操作パネルのタッチパネル化ニーズにともなう、新たな市場の獲得



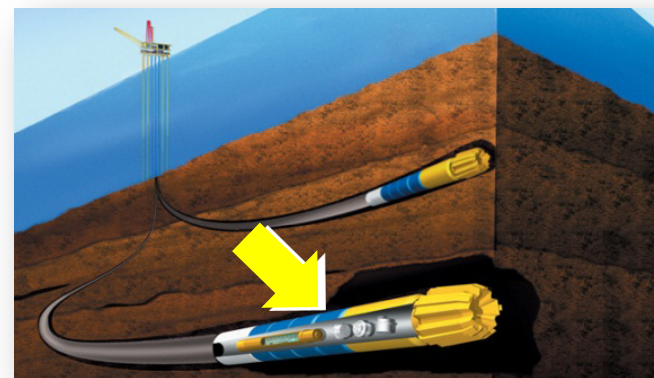
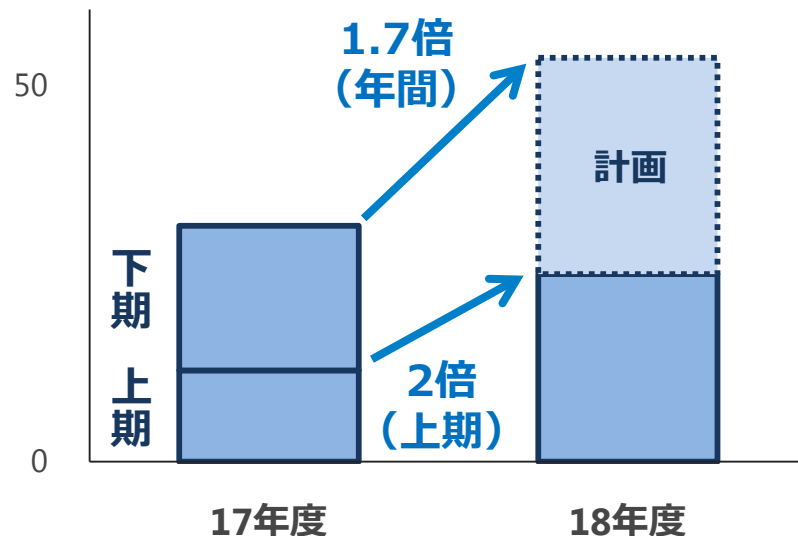
抵抗膜式タッチパネルセンサ  
(CEATEC参考出品)

## ▶ 油田掘削向けセンサ

- 需要拡大に対応した生産・サポート体制増強
  - 生産エリア拡張・人員増強による生産能力増強（上期実施済み）  
⇒ フル生産の継続
  - 米国保守・サポート拠点（ヒューストン）の体制強化
- 新製品による一層の受注拡大
  - 計測精度向上など、製品付加価値の向上

（億円）

油田掘削市場向け 売上高



## ▶ 世界最小クラスの高性能アンテナをNECと共同で開発

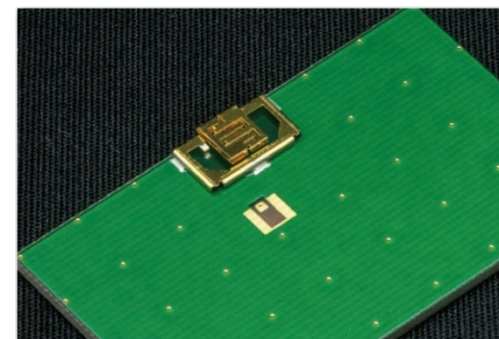
- NEC独自のメタマテリアルを活用した超小型μSR™技術と、  
当社の持つ精密加工技術を融合し、表面実装タイプのアンテナを共同開発

### ➤ 特長

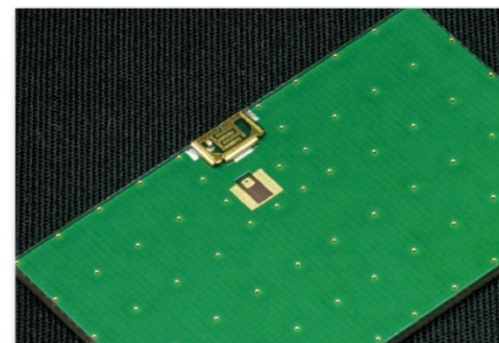
- ✓ 90%以上のアンテナ放射効率を実現
- ✓ 高い実装場所の自由度
- ✓ Wi-Fi、Bluetooth、V2X、LPWAなどの規格に幅広く適用可能

### ➤ 適用領域・用途（想定）

- ✓ ゲーム機、Wi-Fiルータ、ネットワーク家電など
- ✓ Connected Car、IoTなど、今後幅広い用途へ適用可能



Wi-Fi 2.4GHz対応



V2X 5.9GHz対応

メタマテリアル：人工的な構成要素を周期的に配置することで、自然界には存在しない物性を持つ材料  
μSR™技術：スプリットリング(SR)共振器技術（小型アンテナ素子技術）



**グローバルマーケティングの強化と生産性向上により、  
売上・利益の成長を目指す**

- **携帯機器向けは業界トップクラスの地位を維持**
- **自動車、産機・インフラ市場での成長加速**
- **ものづくりの革新による生産性向上**

**2018年度計画を達成して成長の基盤を固めると同時に  
中期的成長に向けた開発・マーケティングを強化**

**Technology to Inspire Innovation**



**JAE**



#### <注意事項>

本資料に記載されている当社および連結子会社（以下JAEと総称します）の計画，戦略および業績見通し・目標は2018年10月26日現在の予測・目標であって，リスクや不確定な要素を含んでおります。

本資料に記載されている目標は予想ではなく，将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものではありません。むしろ，経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績は，様々な要因により，見通し・目標等と大きく異なる結果となりうることを予めご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としてはJAEの事業領域を取り巻く日本・欧米・アジア等の政治・経済情勢，市場におけるJAE製品（リフト製品を含む）に対する需要変動，競争激化による価格下落圧力，および競合各社に打ち勝ち供給し続ける能力，海外市場における事業拡大能力，事業活動に関する法規の変更やその不透明さ，潜在的な法的責任，為替レートなどがありますが，これら以外にも様々な要因が有り得ます。世界経済の悪化，世界の金融情勢の悪化，国内外の株式市場の低迷などにより，実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。将来予測に関する記述は，その日現在のものであることをご承知おきください。

新たなリスクや不確定要因は随時発生することが明らかなですが，その発生や影響を予測することは不可能であります。また，リスクや不確定要因がある為，将来予測に関して記述されている内容が実際には起こらない場合もあります。これらの記述に全面的に依拠することの無きようお願いします。

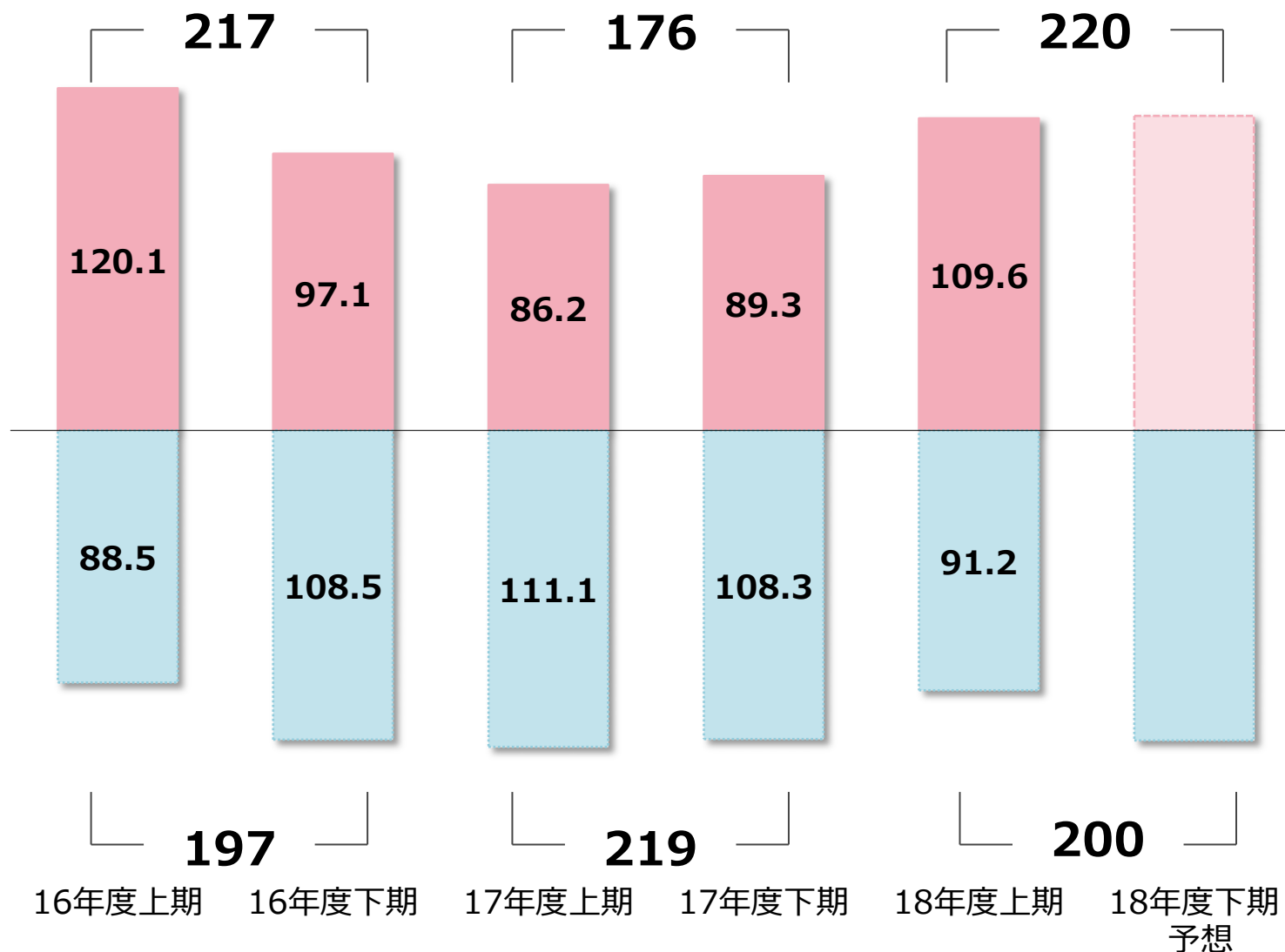


# 設備投資・償却費

(億円)

設備投資

償却費  
等



(償却費等：固定資産の除却含む)

## お知らせ

### 当社は創立65周年を迎えました

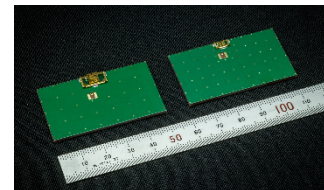
おかげさまで、当社は1953年8月の創業から、65周年を迎えました。  
皆様のご支援、ご愛顧に、心より感謝申し上げます。



## お知らせ

### メタマテリアルを活用した世界最小クラスの高性能アンテナを NECと共同開発

NECのアンテナ技術と当社の精密加工技術の融合により、高い送受信性能を持ち、実装場所の自由度の高い小型アンテナを開発しました。  
Wi-Fi、Bluetooth、V2X、LPWAなど幅広い分野での事業化を目指します。



## お知らせ

### JIMTOF2018に出展いたします

当社は11月1日～6日に東京ビックサイトにて開催される「JIMTOF2018」に初出展致します。  
当社ブースではインダストリアル用角型・丸型インターフェースコネクタ（防水・耐油等）、産業機械向け操作パネル、センサ/コイル製品を展示予定です。



## 車載向けコネクタ

車載情報通信機器向け高速伝送用HSD互換コネクタ  
「MX65シリーズ」を開発



## 車載向けコネクタ

車載情報通信機器向け高速伝送用コネクタ  
「MX68シリーズ」を開発



## 産機向けコネクタ

CHAdeMO仕様に準拠したV2G (Vehicle to Grid)  
システム用コネクタ「KW03シリーズ」を開発



## 産機向けコネクタ

産業機器向け角型オールプラスチックコネクタ  
「KN02シリーズ」を開発

